

平成23年10月14日に宮崎県延岡市で発生した突風について  
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

10月14日7時30分頃に延岡市北浦町古江阿蘇地区<sup>きたうらまちふるえあそ</sup>で突風が発生し、屋根瓦の落下などの被害が発生しました。

このため、宮崎地方気象台は、本日(14日)突風現象の調査のため気象庁機動調査班(JMA-MOT)を派遣し、現地調査を実施しました。

結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻と推定した。

(根拠)

- ・ 被害の発生時刻に被害地付近を活発な積乱雲が通過中であった。
- ・ 被害の発生時刻頃に、海上から被害地に近づく竜巻の目撃証言が複数あった。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF0と推定した。

(根拠)

- ・ 倉庫の屋根瓦の落下があった。
- ・ 倉庫の窓ガラスが風圧で割れたが、周辺の状況からF1の可能性は低いとみられる。

\* この資料は、速報として取り急ぎまとめたもので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。